

日本使節と外國事務宰相と談判の主意を先日本よて和蘭及び其他の諸國と條約を取極日本某港を千八百六十二年第一月一日より開くべきよて定めたり然れども今日本よて此定めを姑く延期せんを求むるよりあり使節の存意を日本人民猶未ど十分は開けず夫故今俄よ所よ於て歐羅巴人と相觸るる時を國の太平を害ふよ到るべしとかり

英吉利よ於てを五年の延期を承知せり日本人の求め佛蘭西よ於てを駁とる返答なく何れ外諸國と同様の振合よすべしとあり和蘭政府よ於てを延期の事承知せしぐ又

を佛蘭西同様の説ふるういよと相分らず然れども今日新よ外國事務宰相と應對あり趣ふれど多分右の談判も既よ相濟とるあるべし

日本使節伯靈の方へ出立すべき日限を第七月七日我六月十一日

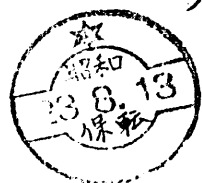
と定まりたり然れども殊よよらむ今少し延引すべし其故をスーストデイキよ居ます國王の母君を訪ひまいらすると否との程いまと相分らざるよよれり

日本使節出立の節を應接役の者之を送りて普魯士境よ至るあるべし多分シセルドルフよ至り此地よ普魯士王の應接役出迎ひ誘ひ行あるべし

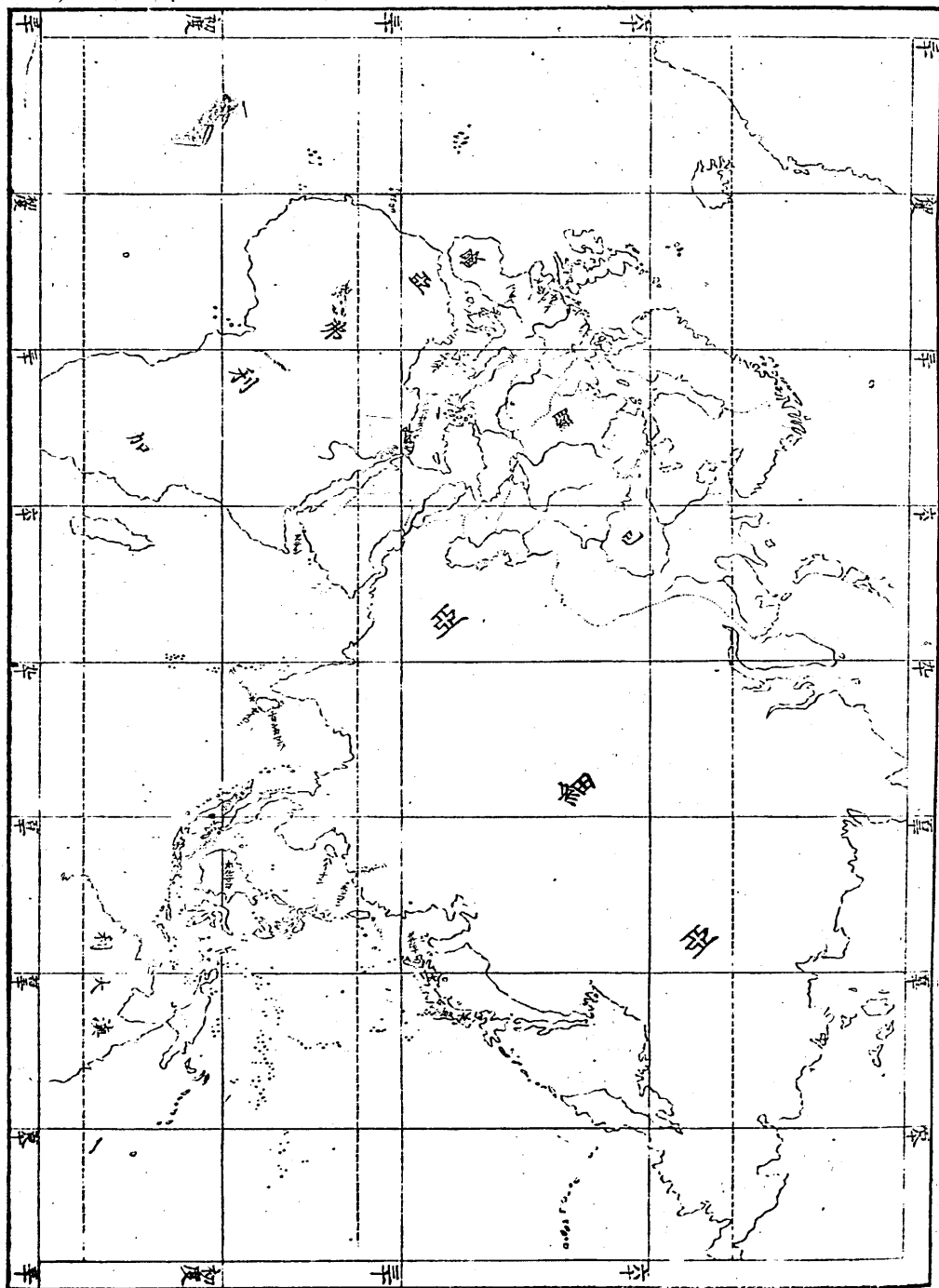
日本使節佛蘭西使節の旅館を訪ひしに折節留守中よて書記官の者出迎へり

英吉利使節を日本使節の爲に祝宴を催せり

日本使節葡萄牙の使節巴命セサルを我方に招けり又安特堤の貿易會所より一人の用達を日本使節に附置しが其者諸品物の見本を持行し日本使節其内より最も本國に關係ある物を指示せり其他日本使節右用達と相親しみ交易の學問及び日本交易に係りたる事等を尋ね問へり



日本國使節針路略圖



071
/

發閱目錄

舶來書籍類

官版原書類

同翻譯書類

老皂館

東都豎川三之橋

萬屋兵四郎